

■コメント

1. 風しん

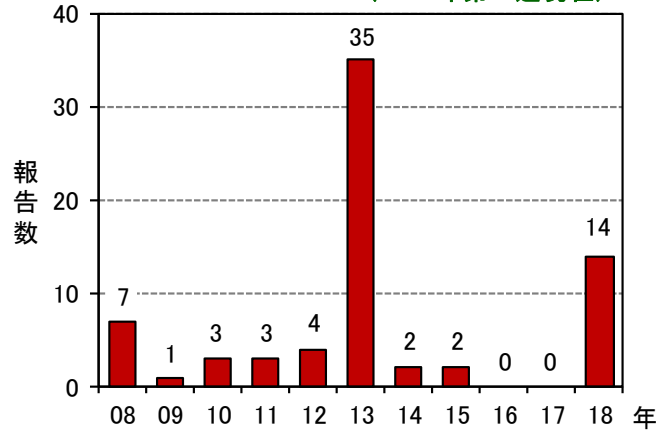
2件の報告があり、今年の累計は14件となりました。風しんは、発熱、発しん、リンパ節の腫れを特徴とするウイルス性の感染症です。妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。(次頁参照)

2. インフルエンザ

定点医療機関から10人(定点当たり0.27人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。インフルエンザの流行時期が近づいています。流行前の予防接種、手洗いの励行、咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

風しんの年間報告数の推移

(2018年第44週現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	10	0.27	0.18		小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.65	
小児科	咽頭結膜熱	7	0.29	0.38		眼科	RSウイルス感染症	11	0.46	0.87	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	48	2.00	2.15			急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	114	4.75	6.51		基幹	流行性角結膜炎	7	0.88	0.78	
	水痘	8	0.33	0.65			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	33	1.38	1.07			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.12			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.29	
	突発性発しん	9	0.38	0.37			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.20			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	34	男性(60歳代)
5	アメーバ赤痢	1	9	男性(60歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	10	女性(70歳代)
5	梅毒	1	96	女性(30歳代)
5	百日咳	2	55	男性(40歳代)、男性(50歳代)
5	風しん	2	14	女性(30歳代)・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																					第40週
報告数	広島市	15	6	47	91	7	47	3	4	2	8	16	-	6	-	-	-	-	-	-	-
		8	10	34	95	6	42	5	9	11	3	14	-	4	-	-	4	-	-	-	-
		19	16	62	106	5	43	1	10	9	4	11	-	6	-	-	-	-	-	-	-
		12	7	60	135	10	37	1	9	2	6	5	1	6	-	-	1	-	-	-	-
		10	7	48	114	8	33	2	9	2	7	11	-	7	-	-	2	-	-	-	-
定点当たり	広島市	0.41	0.25	1.96	3.79	0.29	1.96	0.13	0.17	0.08	0.33	0.67	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
		0.22	0.42	1.42	3.96	0.25	1.75	0.21	0.38	0.46	0.13	0.58	-	0.50	-	-	0.57	-	-	-	-
		0.51	0.67	2.58	4.42	0.21	1.79	0.04	0.42	0.38	0.17	0.46	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
		0.32	0.29	2.50	5.63	0.42	1.54	0.04	0.38	0.08	0.25	0.21	0.13	0.75	-	-	0.14	-	-	-	-
		0.27	0.29	2.00	4.75	0.33	1.38	0.08	0.38	0.08	0.29	0.46	-	0.88	-	-	0.29	-	-	-	-
全国	第42週	0.19	0.28	1.68	3.56	0.27	0.99	0.38	0.40	0.52	0.12	0.98	0.01	0.87	0.03	0.04	0.32	0.01	-	-	-
	第43週	0.19	0.33	1.92	3.89	0.28	0.96	0.50	0.41	0.36	0.11	0.87	0.01	0.86	0.02	0.04	0.35	-	-	0.01	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.0) 鼻炎	8	男	2018/10/01	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	8	女	2018/09/25	鼻汁	エンテロウイルス68型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	3	女	2018/09/25	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.8) 気管支炎	1	男	2018/09/29	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	6	男	2018/09/30	鼻汁	エンテロウイルス68型 ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎	13	男	2018/09/30	鼻汁	エンテロウイルス68型
その他の呼吸器疾患	発熱(37.5) 気管支炎	1	男	2018/10/01	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	3	女	2018/10/01	鼻汁	エンテロウイルス68型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★風しんに注意しましょう! ~先天性風しん症候群を防ぐために~

首都圏を中心に、全国的に増加しており、第43週現在、1,692件の報告がありました。第43週までに先天性風しん症候群は報告されていませんが、2012年、2013年に流行した際には、流行に関連した先天性風しん症候群が45件確認されています。

風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。妊婦への感染を防止するため、過去に風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認できている方以外の方は、予防接種を受けましょう。

【参考】

- ・風疹急増に関する緊急情報(2018年)(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/rubella.html>
- ・風しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/
- ・風しんに要注意!(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1338441470548/index.html>
- ・広島市では無料の風しん抗体検査を行っています。【先天性風しん症候群を防ぐために!】(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1395648504256/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧くださいませ。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第44週(10月29日~11月4日)